

鳶ヶ巣山砦奇襲隊の進路(吉川～松山峠～鳶ヶ巣山)

天正3年(1575)、設楽原の戦いの前夜、信長の命を受けた酒井忠次は3千の兵で豊川を渡り、この吉川から松山峠を超えて長篠城の背後まで迂回し、武田軍の拠る鳶ヶ巣山を攻撃した。この作戦が、織田・徳川連合軍大勝の起因となったといえる。(説明板より)
この松山越えはいくつもの険しい峠と谷をつなぐ難路で土地の者でなければわからず、この時、吉川から先導したのが吉川在住の豊田藤助だった。

